

带状疱疹のワクチン接種に公費助成を

带状疱疹とは、子どもの頃に罹患した水疱瘡（水痘）のウイルスが成人しても身体の神経節に潜んでおり、加齢による免疫力の低下及び過労やストレスが引き金となって再発症する病気である。病状によっては、束ねた針で皮膚を打たれる様な激痛が走る。また、重症化すると、視力低下や神経麻痺などの後遺症が残ることもある。带状疱疹は、50歳を境に発症率が急上昇し、80歳までに約3人にひとりが罹患する病気となっている。

国は带状疱疹ワクチンについて、50歳以上の人に対する予防に効果効能を承認している。さらに、2018年3月には不活化ワクチンの「シングリックス」が薬事承認された。そして、2020年に使用開始となったワクチン・シングリックスは、がんや膠原病などで免疫が低下している人でも接種が出来るなど効果効能も含め推奨されている。そのワクチンは2回の接種が必要で費用は約5万円である。

町民からは、「ワクチンを接種したいが、費用は高額なので補助をして欲しい。」と切実な声がある。よって、次の項目を問う。

- 1 带状疱疹ワクチンについて本町の認識は。
- 2 带状疱疹のワクチン接種を公費助成する考えは。